

活路開拓と見本市決める

通常総会開いて二大事業を審議

理事増やし大松理事長ら再選

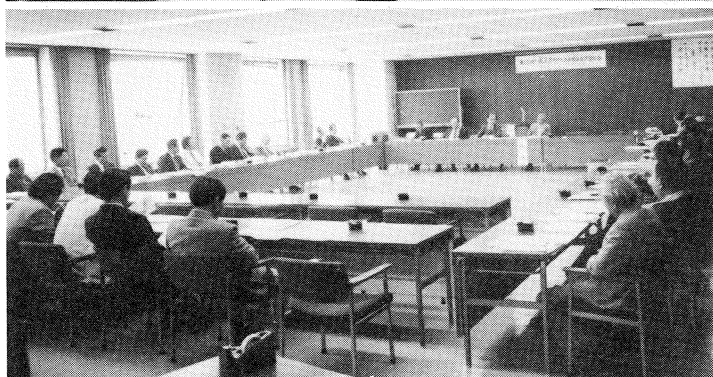
岐阜県プラスチック工業組合はさる5月19日、岐阜市六条南の岐阜産業会館5階会議室で『第13回通常総会』と『県プラスチックデザイン協会第19回通常総会』を開催した。

議題は①昭和55年度事業報告と同決算報告②昭和56年度事業計画と同収支予算③役員定数の変更と役員改選④プラスチックデザイン協会関係議案一など。とくに今年度総会は、国、県の助成と中央会の指導を得て行う『活路開拓調査指導事業』の実施と、理事会が計画を練ってきた『57年岐阜県プラスチック産業見本市（仮題）』の開催など業界振興策を全会一致で決定した。

理事長『相互協力』を呼びかける

工業組合の通常総会は、田中弘一副理事長の開会宣言で始まり、最初は大松幸栄理事長があいさつに立ち、業界が当面する問題点について話した。

このなかで大松理事長は『一つの企業だけが



来賓多数を招いて開いた今年の通常総会。下は全景。

生きていける、また、一企業だけが利益を得るという時代は終わりました。今日は一企業、一業種というように単独で利益を得て生きて行くことはありません。この混合経済のなかでは組合のような多数企業の共同事業や関連業界の相互協力がなければ生きて行けません』と前置きして『岐阜県のプラスチック産業に必要なのは、業界あげて活路開拓事業やプラスチック産業見本市と取組むこととあります』と強調した。

このあと来賓として招いた名古屋通産局長代理の新井昭二商工部次長、岐阜県知事代理の広瀬健児商工労働部長、平野喜八郎各務原市長、上村安一中小企業団体中央会専務理事から祝辞を受けた。

児玉・米谷の両氏を新理事に選ぶ

議案審議は大松理事長を議長に選んで行い55年度事業報告、収支決算と56年度事業計画、収支予算を原案どおり承認したあと、役員定数のうち理事を『10人以上13人以内』とする定款変更を行ったあと、任期満了に伴う役員の改選をした。

改選は選考委員による指名推薦の方法をとることにし、大松理事長ら現理事9人に新しく児玉庄一氏（コダマ樹脂工業）米谷元則氏（名古

屋三光合成樹脂工業岐阜工場）の2人を加えた11人を理事とし、林光夫氏、真鍋義雄氏の2人を監事に選出した。

二大事業の他にも数々の事業実施

席上、決定した56年度事業計画は①活路開拓調査指導事業の実施②57年秋にプラスチック産業見本市を開催するための準備調査③工業技術センターなど関係機関の協力をえて、講習会、研究会、展示会、見学会、巡回技術指導に加えて、射出成形の国家技能検定試験（職業能力開発協委託）の実施④会報の発刊⑤希望品目の共同購入事業⑥自動車ローンの実施⑦労働保険をはじめとする事務代行業の実施などが主な内容である。

新しい試み ディスカッション

『技術的な信用力をつくれ』

このように第13回総会は、工組創立いらいの大がかりな二大事業の実施を決めた。総会後はさらに、新しい試みとして『岐阜県のプラスチック業界はこれからどうすればよいか』をテーマにディスカッションした。

ディスカッションは田中副理事長の司会で行い①市場開拓で先立つことは、技術的な信用力をつけること②市場開拓や技術力の先取りは個々の企業では難しいが、共同受注、共同加工など共同事業によって補うことができる③材料⇔金型⇔成形加工業者のコミュニケーションが大切である—などの意見が出た。

○工組の新体制を紹介○

当工組理事会は6月20日、改選後初会合を開き、大松理事長を再選するなど次のように決めた。

▽理事長

大松幸栄（岐阜プラスチック工業）

▽副理事長

大野繁俊（東海ポリエチ工業所）

田中弘一（田中化学工業所）

武藤昭三（武藤合成）

▽理事

納土栄一郎（東和化成）

奥村 勝（天龍工業）

日比正隆（大垣プラスチック工業）

篠田 哲（岐阜技研ポリマー）

吉田博司（美濃化学工業）

児玉庄一（コダマ樹脂工業）

米谷元則（名古屋三光合成岐阜工場）

▽監事

林 光夫（関化成工業）

真鍋義雄（厚見プラスチック工業）

来賓から激励の言葉

祝辞の要約

工業組合の56年度通常総会は、活路開拓と見本市開催の二大事業の審議とあって、例年になく組合員の参加となった。一方、来賓も国の関係で新井名古屋通産局商工部次長、県からは広瀬商工労働部長、北村工業技術センター場長、自治体では平野各務原市長、そして中央会から上村専務理事らが出席・次の激励の祝辞があった。

プラスチック主導型の展望を

新井名古屋通産局商工部次長の話 プラスチック業界の現状は、用途先の業界によって好況のばらつきが多く、業界全体としては暗い部分が多いと思います。この複雑な時期に対応する業界の方向付けは難しいものがあるかも知れませんが、幸い活路開拓事業と取り組まれるのを機会に、新しい技術、新しい分野、新しい市場を開発され、新しいプラスチック主導型のビジョンを探っていただきたい。

活力あふれる経営活動促進を

広瀬県商工労働部長の話 工組創立いらいもう13年になり、県下7大産業の地位を確立されました。しかし、産業界を取り巻く環境は厳しいものがありますので、一層の団結を強化され、活力あふれる経営活動を促進されることを期待しています。県としても県産業の重要な柱であるという認識のもとに、活路開拓事業をはじめとして、経営の近代化、金融の円滑化、技術力の向上につながる諸施設を推進する所存でありますので、県内産業の振興に努力をお願いします。

産業見本市の開催に期待する

平野各務原市長の話 現在の日常生活からプラスチックを除いたらほとんど何も残らないでしょう。それほどわれわれの日常生活を支えて

下さるプラスチック業界の皆さんにお礼を忘れてならないと思っております。最近の経済環境は良好ではありませんが、どうか理事長を先頭に団結し、悪環境を打破していただきたい。とくに57年には久しぶりに産業見本市を開催されると聞いておりますが、数多くのプラスチック工場を抱える各務原市としては非常に刮目していますので、ぜひ開催を実現していただきたい。

ソフトな組合活動の展開望む

上村中小企業団体中央会専務理事の話 活路開拓調査事業に取り組むにあたっては、今おかれている現状を調査研究し、新しい将来に向けて、新技術の開発、新商品の開発、新市場の開発、あるいは省資源、省エネルギーの問題について十分研究していただきたい。

これからの組合活動は、極めてソフトなもので、いわゆる情報の収集、分析、加工をいかに企業に活用するかという問題、あるいは世代交替期にこれからの人材養成はどうあるべきかということを研究実行していくかが、組合に課せられた使命かと思えます。

とくに皆さん方は、新しい時代を生きていかねばなりません。この活路開拓事業では、もう一度、いま業界が立たされている現状を調査研究し、新しい将来へ向って進んでほしい。

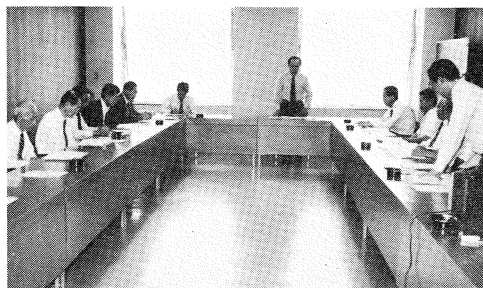
活路開拓事業スタート

調査研究概要の紹介と
専門委員・推進委員紹介

『活路開拓調査指導事業』は総会の承認をえたので、さる6月8日午後から産業会館で準備会(写真)を、さらに7月7日午後からは産業会館で初委員会を開くなど、具体的な事業活動を開始した。委員会は井手勝也全日本プラスチック成形工業連合会専務理事ら5専門家委員と大松幸栄理事長ら工組側の8推進委員が出席して開いたもので、こんご年度末にかけて実施する県内実態調査、現地視察、研究事業、ビジョン作成、講習会開催などの作業スケジュールを決めた。

新製品・新技術・新市場の開拓

この活路開拓事業は既報(第41号・第42号)のように、国・県の補助金350万円と、中央会の指導をえて、総額700万円を実施するもの。その調査研究テーマは『新製品・新技術および新市場の開拓』で、また、サブテーマ



を技術集約型産業への移行、下請企業の体質改善と販路の開拓においている。

まず、調査研究としての基礎データは県内企業の実態、地区ごとの特異性や問題点の把握を行う。一方、最新技術の動向や他産地の実情など本県との比較データも収集する。これらの基礎データ、比較データを分析し、県内業界のもつ問題点の提起、今後の方向付けを行う。そのなかで県内各地域で集団懇談会を開いたり、東京・大阪などの業界関係者とシンポジウムを開き、各界各層と意見交換を行ったあと業界ビジョンを立案する。

なお、このビジョンを報告書にまとめ、講習会を開催する。

専門委員と推進委員の紹介

なお、事業を担当する委員は次の各氏。

〔専門家委員〕

牧廣工業技術院製品科学研究所基礎性能部長
井手勝也全日本プラスチック成形工業連専務
上村安一岐阜県中小企業団体中央会専務
北村敏雄岐阜県工業技術センター場長
関谷裕彦岐阜県工業技術センター高分子科長

〔工組側推進委員〕

大松幸栄理事長(岐阜プラスチック工業)
田中弘一副理事長(田中化学工業所)
武藤昭三副理事長(武藤合成)

奥村勝理事(天龍工業)

児玉庄一理事(コダマ樹脂工業)

辻龍男組合員(東洋クインライト)

児玉力組合員(児玉化学研究所)

このほか協力委員として14人(うち推進委員との兼務3人)を射出成形、インフレーション成形、中空成形、熱成形、FRPの5業種、また地区別に分けて調査協力することになった。

したがってプラスチック業界の活路開拓調査委員会は大松理事長を委員長に専門家委員5人そして推進委員8人、協力委員14人(うち3人は兼務)の業界側19人からなる合計24人で構成している。

全国業界のニュース

◎ ジャパンプラス組織替える◎

『ジャパンプラス』で知られる日本プラスチック見本市振興会は見本市の内容と運営を充実させるため、新しい組織へ衣替えした。

この見本市振興会は2年に1度、東京と大阪で交互にプラスチックとゴムの見本市を開催しているが、こんごは出品者本位の見本市運営をめざし、会員組織を拡大強化することにした。具体的には、これまで日本合成樹脂技術協会やプラスチック工業連盟の3団体のみが会員となっていたのを、これからはジャパンプラスの出品者からなる正会員と業界団体からの特別会員の2種類の会員で構成する。また、業界団体もワクを広げる方針である。

◎ 石化業界はツユ明けまだ遠し◎

石油化学工業協会がまとめた5月の石油化学製品の生産実績によると、エチレンプラントの定期修理があって生産は増えておらず、半面、生産調整が浸透し、主要製品の在庫は正常化しつつある。しかし、実需は一向に回復せず、ほとんどの製品市況は低迷状態で、いぜんとして『石化業界のツユ明け宣言は遠い』と業界では見ている。

こうした低迷を反映、5月のエチレン生産は30万1,700トンと50年水準と同様で、このままいくと1-6月期は昨年同期の239万トンを大幅に割り込む184万トン程度になりそう。

◎ 新タイプのスチレン系の樹脂◎

旭化成は、新タイプのスチレン系樹脂『アサフレックス800』と『同810』を開発、市販した。新商品は長年にわたって培ってきたポリマー重合技術をもとに、独自の技術で開発し

たスチレンとブタジエンからなる熱可塑性樹脂である。

特徴は①すぐれた透明性を持っている②耐衝撃性にすぐれている③引裂きに強い抵抗を示す④延伸によりさらにすぐれた性質を与えることができる⑤ヒートシール性がすぐれている⑥食品衛生性がすぐれている—などで、押出成形、中空成形、射出成形、射出中空造形に適合して、利用分野は広い。

◎ 新スローガン・愛される商品◎

日本プラスチック日用品工業組合（大松幸栄理事長）は、さる5月末、犬山市の名鉄犬山ホテルで第8回通常総会を開いた。

この席上『新しい暮らしに親しまれ、愛される商品づくりをしよう』の新スローガンを決めた。ついで56年度の事業計画として①第7回目となる'82全日本プラスチックフェアを57年1月下旬、神戸ポートアイランド国際展示場で開催する②工業標準化実地指導は生活用品振興センターからコンサルタントを派遣し、品質管理を重点に行う③品検済マーク制度は6月1日から完全実施する④J I S見直しのため原案作成への協力⑤デザインコンペの開催—などを決めた。

◎ 構造改善に向けて実態調査へ◎

通産省は近くプラスチック製品製造業を、中小企業近代化促進法に基づく特定業種に指定することにし、構造改善に向けて実態調査に着手する方針である。

近代化の方向は①経営規模の適正化のための企業の集約・グループ化促進②生産コスト低減のための設備の更新③品質・性能向上④標準外注取引約款の作成普及など取引改善—などで、全日本プラスチック成形連が中心に進める。

デザインのすすめ

岐阜県プラスチックデザイン協会

企業デザイナーの考え

製品をデザインすることは、製品を「良質化すること」、「統合された質に高めること」と同じであり、形状や色にとらわれ解決することではないということも、すでにオリジナル商品を開発されている企業の方々には十分理解していただけるはずである。

そして、すぐれたデザインを生み出すのは企業の責任であってデザイナー個人ではないことも。

では、個々のデザイナーは何をデザインするのかということになるのだが、このことについては前号にひきつづきブラウン社デザイナーのデザイン観の中から学んでいただきたい。

○「使用される」ということが、私たちにとっていっさいのデザインワークの出発点であり目標である。

デザインをする場合、私たちは有効なものを注意深く選択する聡明な、経験豊かな、そして判断力のあるユーザーを心に描いている。

○有効なデザインの第一の原理は秩序（オーダ

ー）である。

製品の機能をひと目でわかるようにし、さらに取扱いの方法を明快にします。そのためにこそ、各構成要素の配列、それらの配列と他の要素との関連、それら形、大きさ、色彩、すべてがよく考究されている。

○デザインの経験は、人間の経験である。

ライターの操作にもっとも快適な方法、どのような文字の組み合わせ方がもっとも読みやすいかというように、人間の体力、尺度、感覚、理解力などに一致するものでなければならない。

○ブラウンのデザイナーにとって副次的部分というものは無い。

私たちは展示効果を目的とした製品も他のメーカーのものと区別しがたいような平均的な性格の製品もデザインしたい。

○私たちにとって、デザインの良さとは、デザインを最少にとどめる、ということである。

構成の簡潔性と明快性によって、全くファッションとはかかわり合うことなく、1955年にデザインされたラジオも、常に現代性を持っている。

デザイナーは、いつでもできるだけわずかの構成要素で解決しようと努める。

（岐阜県工業技術センター・工業デザイン室）

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂
NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂
NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂
NOVADUR
ノバドール

中低圧ポリエチレン
ポリエチレン **NOVATEC** **NOVATEC-L**
高圧ポリエチレン



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (〒100)

近くNC導入して金型生産

名一工業製作所



市原利夫さん

組合員の工場訪問は、プラスチック金型を専門とする名一工業製作所（市原利夫代表、資本金150万円）を訪ねた。工場は岐阜市長良城西町で長良小学校北側の閑静な住宅街にある。この市原

さんは工組の前身、プラスチック協会時代からの会員で、根っからのプラスチック屋さん。というのは昭和14年、元工組役員だった大栄ライトの小川関太郎さんと共に大東合成樹脂（本社名古屋、岐阜市加納に工場があった）で働いた人。いいかえれば岐阜におけるプラスチック産業の先覚者の一人ともいえる。

市原さんはたまたま、成形加工より金型加工を中心に担当、技術を磨いた。戦後もしばらくサラリーマン生活が続いたが、昭和36年に独立、名古屋で金型工場をつくった。39年には出身地の高富町に近いこの長良北町へ工場を移した。当時は民家を改造した工場であったが、現在は約300平米の用地に約130平米の2階建て金型工場を建設、プラスチック金型を専門に生産している。

成形と金型の相互協力に期待

金型づくり42年になるわけで、市原さんは『樹脂金型のほとんどを手がけた』と話す。工組の組合員企業ともかなりの取引があるが、金

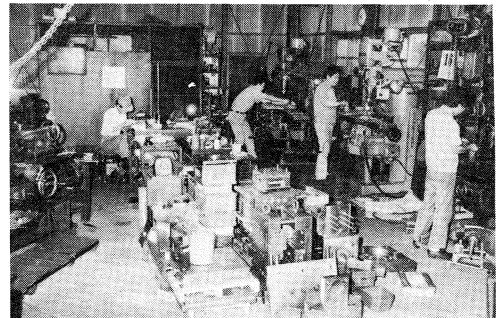
型は成形業者の企業秘密に属する部分が多くあるので、取引には気を配ってきたという。

市原さんは岐阜の金型業者9人とともに中部プラスチック金型協組の会員として参加している。さる54年末、市原さんのあっせんで工組の成形加工業者とこの金型業者が懇談したことがあるが、『懇談の場をもっと増やし、相互協力を図って、岐阜産地を盛り上げたい』とも話している。

後継者にも恵まれ工場は活気

工場は、一口にいえば町の鉄工所という感じであるが、フライス、放電加工、研磨、シェーパー、旋盤などと工作機械が約20台ぎっしり並ぶ。作業する従業員は7人。その中に息子の登志徳君（25歳）が機械と取組む。

瀬戸市の同業者で技術修得し、この春から親元でさらに腕を磨いてもらおうというわけである。後継者に恵まれたせいか市原さんの表情は明るく『コンピュータの登場で近年の機械加工技術の進歩はめざましい。この技術革新に乗り遅れないように、今年ぜひNCマシンニングを導入したい』とはりきっている。



（写真は工作機械がずらり並ぶ金型工場）

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

技能検定受験 25人・がんばって

ことしの技能検定受験申請者数がまとまりました。1級技能士は実技が1人。2級技能士は実技が19人、学科が17人です。実技の事前講習および検定、また学科試験などのスケジュールは近く決定し、受験者あてにご連絡いたします。がんばって下さい。

初の製品開発スクール無事に終了

工業技術センターの援助と指導をえて初めて開講した『第1回製品開発スクール』は、好評のうちに延べ18日間にわたる研修、実習を終わり、6月25日修了しました。

この製品開発スクールは、自社開発製品の開拓が急務といわれる中で、製品の開発をどのように、どうして行ったら良い商品が作り出せるか、という組合員の要望に応じたもので、受講者8人は最後まで熱心にやりとげました。

活路開拓調査事業にご協力下さい

活路開拓調査事業がいよいよスタートしました。種々の実態調査や内外の動向をもとに専門家委員の手で業界が進むべきビジョンをまとめ

てもらわけてです。組合員の方々にはいろいろご協力を願わねばなりません。とくに、実態調査で企業を訪問しますので、調査事項の記入にご協力下さい。

組合青年部準備会にご参加下さい

産業界の明治・大正生れの経営者たちは高齢期を迎え、いまや世代の交替時期に入っています。企業や組合内においても二世後継者や若手経営者へバトンタッチされるケースをよく見聞します。

そうした交替期を迎えてもとまどわないようにと、次代を担う人材養成をかねた組合青年部を組織するための準備会が近くスタートします。当初は人材養成とか後継者教育とか堅苦しく考えないで、若手経営者の親睦会としてスタートします。気軽にご入会下さい。具体的には準備会で話し合っ決めてますが、将来は組合青年部として活動する方針であります。

岐阜県のプラスチック 1981 43号

昭和56年7月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
(岐阜産業会館4階)

電話(0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

出光

の石油化学製品

◎取扱品目 中低圧ポリエチレン
ポリスチレン ポリプロピレン
高圧ポリエチレン カルプ®
ポリカーボネート



出光石油化学株式会社

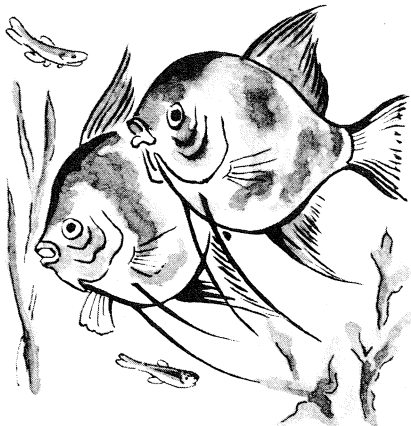
東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

暑中お見舞い申し上げます

昭和五十六年盛夏

岐阜県プラスチック

工業組合役員一同



岐阜プラスチック工業株式会社

取締役社長 大松 幸栄

本社 岐阜市神田町9丁目25 (大岐阜ビル6F)
TEL <0582> 65-2233 (代)

株式会社

東海ポリエチ工業所

取締役社長 大野 繁俊

本社工場 羽島郡岐南町野中宇州崎
TEL <0582> 46-1313 (代)

合資会社

田中化学工業所

代表取締役 田中 弘一

本社工場 関市小屋名520
TEL <05752> 8-2077

品質と技術の工業部品専門メーカー

武藤合成株式会社

代表取締役 武藤 昭三

本社工場 各務原市蘇原村雨町3の46
TEL <0588> 82-4361 (代)

ひまわり印家庭用雑貨

東和化成株式会社

代表取締役 納土 栄一郎

本社・工場 岐阜市前一色3丁目5番16号
TEL <0582> 45-5528 (代) 〒500
東京営業所 東京都中央区新富1丁目5番12号
TEL <03> 551-6300 〒104

バス・航空機・車輛・船舶用各種座席、航空機部品
強化プラスチック、太陽温水器

天龍工業株式会社

本社 岐阜県各務原市蘇原興亜町4丁目1
TEL<0583>82-4111(大代)

大垣プラスチック 工業株式会社

取締役社長 日比正隆

本社工場 大垣市大島町2丁目394番地
TEL<0584>81-1347(代)
名古屋営業所 名古屋市東区代官町24
TEL<052>932-3945(代)

岐阜技研ポリマー 株式会社

代表取締役 篠田 哲

本社 岐阜市長森岩地465の1
TEL<0582>45-8348
本社工場 岐阜市長森岩地清水145
TEL<0582>46-2541

合成樹脂原料製造販売
委託加工及カラーリング

美濃化学工業株式会社

代表取締役 吉田博司

本社 岐阜県美濃市上条62-1
TEL<05753>3-1888

コダマ樹脂工業株式会社

代表取締役 児玉庄一

岐阜県安八郡神戸町末守377の1
TEL<058427>4141番(代表)

名古屋三光合成樹脂工業株式会社

岐阜工場

取締役工場長 米谷元則

名古屋市南区鳥栖町2丁目93番地
TEL<052>822-1325番(代)
岐阜工場 岐阜県安八郡安八町森部2454の1
TEL<058464>代表3388番

関化成工業有限公司

代表取締役 林 光夫

本社 関市東町4の9の1
TEL<05752>2-1545(代)

工場 関市ひかり町
TEL<05752>2-4904

厚見プラスチック 工業有限公司

代表取締役 真鍋義雄

本社 岐阜市上川手498番地
TEL<0582>45-1245



秋元産業株式会社

本 社 東京都中央区八重洲 5 の 7
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
TEL <052> 582-5071



東芝機械株式会社

本 社 東京都中央区銀座 4 丁目 2 - 11
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅 4 丁目 7 番 23 号
化工機課 TEL <052> 561-8341



三菱射出成形機 MFシリーズ

350MF・450MF・550MF・650MF・850MF

三菱重工業株式会社

本社産業機械第一部 東京都千代田区丸の内2-5-1 ☎東京(03)212-3111

名古屋営業所 産業機械一課 名古屋市中村区名駅3-28-12(大名古屋ビル9階) ☎(052)562-2176



三菱油化株式会社

取締役社長 吉田正樹

本社 〒100 東京都千代田区丸の内2丁目5番2号(三菱ビル)
TEL (03) 283-5689(代)

名古屋支店 〒450 名古屋市中村区名駅3-28-12 (大名古屋ビル5階)
TEL (052) 563-5641(代)

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

合成ゴムEPR

エスプレン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号(新名古屋ビル東館5階)
電話 (052) 581-1581(代)



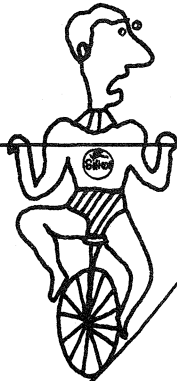
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあたって、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

 **信越ポリマー**

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら

ではの、**離れ技**。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

<特長>

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511(代)

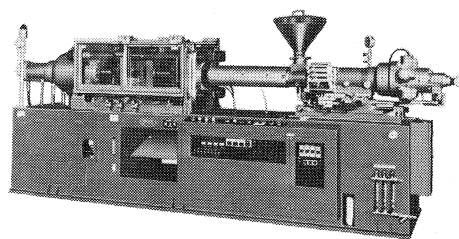


●80年代テーマ

時代を「射る」

高速精密汎用射出成形機 SEシリーズ

「高附加価値成形」と「省エネルギー」の両機能を兼ね備えた80年代の射出成形機です。省電力対応型の電子コントローラによって、射出・型締および油圧など各機構をデジタル制御。とりわけ油圧機構には新機軸の油圧回路SSEシステムにより、油圧の動力損失を最小限に抑えて、消費電力を大幅に減少させました。省電力効果は40～70%（製品により異なる）と極限を追求したものです。



NISSEI 1歩進んだ射出成形機をおとけする
日精樹脂工業株式会社

本社・工場・長野 興坂 城町 電話 (02688) 2-3000 (大代表)
営業所・東京 ☎ (03) 357-7541 (代表) 大阪 ☎ (06) 693-7881 (代表)
名古屋 ☎ (052) 732-0261 (代表) 長野 ☎ (02688) 2-3000 (代表)
出張所・全国27ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所 (21ヶ国)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1(西ビル) ☎ (0582) 72-5952



伊藤忠商事株式会社

名古屋支社 エネルギー化学部合成樹脂課

名古屋市中区錦一丁目5番11号
〒460-91 名古屋中郵便局私書箱10号
電話 (052) 203-2481~2488

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL・94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

発見と発明

ゆたかな生活環境をフリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った
発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®



協和ガス化学工業株式会社

本社 千103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(022)66-1525



生きてる素材。
三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

三菱レイヨン

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

リス
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮